

# チーズホエイの発酵TMR飼料化

(宮城県：一般財団法人 蔵王酪農センター)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- ・所在地：宮城県刈田郡蔵王町
- ・代表者：理事長 富士 重夫
- ・飼養頭数：総頭数330頭（経産牛116頭、育成牛117頭、肉用種97頭）
- ・飼料作物作付面積：（牧草75ha）
- ・雇用者数：7名（R3）（パート含む）
- ・HP等：<https://www.zao-cheese.or.jp/>



発酵TMR飼料  
「乳茶餌（ニューチャージ）」

### <取組について>

#### ○ 経緯

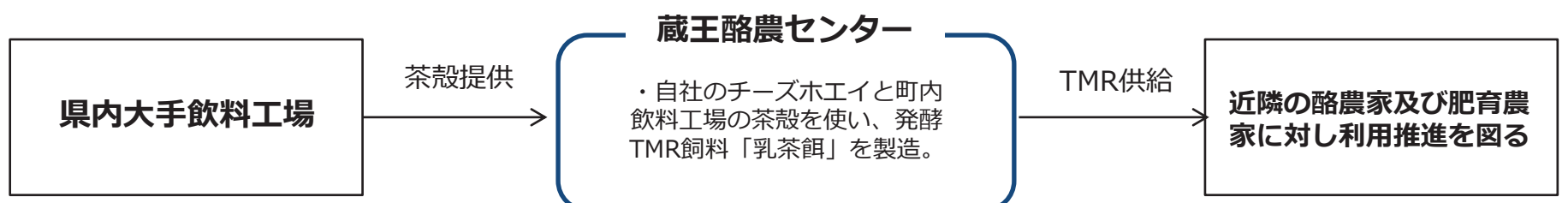
- ・酪農の電化・機械化による合理化を目的として、昭和35年に神奈川県厚木市に財団法人酪農電化センターとして設立。昭和39年に宮城県蔵王町に実験農場、昭和55年に国産ナチュラルチーズの実験製造工場を建設、平成25年に一般財団法人化。
- ・現在330頭の乳牛・肉牛を飼育し、乳牛の飼養管理やチーズ製造等に関する研修を行うとともに、6次産業化の取組として、乳製品の製造及び販売等を実施。

#### ○ 概要

- ・地域酪農家の生乳を使った各種チーズや、チーズホエイを使った乳飲料等意欲的に商品を開発。
- ・自給飼料の確保と食品リサイクルの推進を目指し、自社のチーズホエイと町内の大手飲料工場から排出される茶殻や焼酎粕等食品残さを使い発酵TMR飼料「乳茶餌（ニューチャージ）」を製造し近隣の酪農家に供給している。
- ・「乳茶餌（ニューチャージ）」は、チーズホエイの活性乳酸菌を有効活用をするため試行錯誤の結果、現在の茶殻をはじめとする食品残さを利用したエコフィード発酵TMR飼料。

#### ○ 今後の課題

- ・「乳茶餌（ニューチャージ）」を給与した交雑種F1はオレイン酸の比率が高いことからブランド牛「蔵王爽清牛」としてPRし6次産業化を積極的に推進し地域活性化を目指す。



事務所及び売店